

平成27年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）				整理番号	6 - 2 - 4
事務事業名	生活保護適正化事業			担当課係	生活福祉課
総合計画上の位置付け	大項目	2. 「安心」のまちづくり		記入担当者	
	中項目	①その人がその人らしく住める地域社会		内線等	
	小項目	3. 援護活動の充実と生活自立等への支援		E-mail	
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）			事業区分	経常事業
事業予算費目	款	3	民生費	項	4
	目	1	生活保護総務費	事業	2
開始年度	平成17	年度	根拠法令・要綱等	平成27年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金交付要綱	

■事務事業の概要（実施内容）	
事業の対象	（誰の、何のために事業を実施するのか） 生活保護事業の適正実施を行っていくため。
事業の目的 （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 本事業で行う業務については、生活保護法施行事務監査において、保護適正化の重点項目としてそれぞれ掲げられている。また、不適切な保護受給の発見、防止に一定の成果を上げることが目的となっている。
事業の内容 （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） 診療報酬明細書（レセプト）の点検等と、その結果判明した不適切な受診等に対して指導指示等による是正を行うことなどにより、医療扶助費の適正化を図る。また、関係職員の資質向上を目的とした外部の研修参加を含めた研修等の実施や、生活保護システムの基準改定等に対応する改修等による業務効率化の実施などにより、生活保護事業の適正化を図る。
事業の背景 （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） 平成17年度より国庫補助である「セーフティネット支援対策等事業費補助金」に基づき実施してきたが、今年度は、「平成27年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金交付要綱」の活用しての実施となった。

■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名		指標の説明				指標化できない成果	
	診療報酬明細書を点検し、指導・指示の対象となった件数		頻回受診、向精神薬を重ねて服用している者やジェネリック医薬品の使用が可能な者の件数					
	単位		H26	H27	H28	H29		
件	目標					目標年度 目標値	目標及び達成度について、健康状態が年々変化するため、設定できないが、前年度に比べ対象となった件数は、平成26年度が114件、平成27年度が54件減少している。 診療報酬明細書の点検数 平成26年度17,896件、 平成27年度18,159件	
	実績	781	727					
	達成度							
活動実績・参考となる指標	指標名		単位	H26	H27	H28	H29	指標の説明
	向精神薬を重ねて服用している件数	件	計画 実績		221	217		
ジェネリック医薬品の使用が可能な者の件数	件	計画						ジェネリックの使用も可能な件数
		実績		524	455			
頻回受診の件数	件	計画 実績			3	3		月15回以上の受診を3カ月連続している件数
重複受診の件数	件	計画						同様の傷病で複数の医療機関に受診している件数
		実績		33	52			

■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

		26年度決算	27年度決算	27年度予算	28年度予算		
全体コスト（円）	関連事業費	A 直接事業費	3,446,092	14,263,937	14,781,000	3,368,000	
		財源内訳	国庫支出金	2,240,812	2,781,731		
			地方債	0	0		
			利用者負担	0	0		
			一般財源	1,205,280	11,482,206		
	B 人件費 ①×②	11,704,186	11,181,568				
	職員平均人件費①	5,852,093	5,590,784				
	従事した割合②/人	2.00	2.00				
	A + B	15,150,278	25,445,505				
	単位コスト	活動指標の説明	保護人員851名	保護人員817名		備考	
活動指標1単位当たりコスト		17,803	31,145		平成26年4月1日現在 人口40,333人 平成27年4月1日現在 人口39,866人		
市民一人あたりのコスト		376	638				

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 生活保護法施行事務監査において、保護適正化の重点項目としてなっていること、「生活困窮者就労準備支援事業費等補助金」は今後も続くと思われ。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 生活保護費について、医療費が半分以上(約52%)を占めている中で、先進地も含めて、何かいい手法があるのだったら取り入れることを考えてはとのご意見をいただいた。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果(該当にチェック)	判断理由・評価コメント(具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	社会情勢の変化に伴って増加傾向にある生活保護費、特に生活保護費の半分程度を占める医療扶助費の適正化に寄与するため、必要性は高い。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="radio"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	市が補助対象の事業実施主体となる必要がある旨が規定されているため、市が行わなければならない。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="radio"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	<input type="radio"/> ① 効率的である	向精神薬の不適切な処方を受けた受診者及び重複・頻回受診者等への受診指導、助言等の実施、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用促進につながっており、どちらかといえば効率的であると考えられる。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="radio"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	保護費の給付等の適正化を図るといった事業の性格上、生活保護事業を維持・運用するために必要である。
	<input type="radio"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="radio"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	レセプト点検の実施においては、不適切な受給の発見、防止等に関する成果が上がっている。また、各種研修に参加することにより、職員の資質はより向上していると考えられる。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="radio"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	全国的には社会情勢の影響等により、生活保護受給世帯については、高齢者世帯が増加、高齢者世帯を除く世帯は減少し、世帯数全体では平成28年3月に約163万5千世帯と前年同月の約162万2千世帯より約1万3千世帯増加している中、生活保護事業の適正化をより一層図られるようにしなければならない。そのために、職員の資質向上、チェック体制の強化をさらに進めていく必要があると思われる。	

■一次評価(評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	2	1 拡 充 す る	80点以上	評価点による判定	判定に至った理由		
		2 現状のまま継続する	60~79点				
		3 改善・効率化し継続	40~59点			評価点	65
		4 終期設定し終了	20~39点			2	
		5 完了・休止・廃止	19点以下				
本事業で行う業務については、生活保護法施行事務監査において、保護適正化の重点項目としてなっている。また、不適切な保護受給の発見、防止に成果も確実に上がっていることから、継続実施が必要であると考えられる。							

■改善・効率化の方向性 ※一次評価の判定が3の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容(方向性・対象・手段等について記述)】

■二次評価(所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	2	1 拡 充 す る	判定説明
		2 現状のまま継続する	
		3 改善・効率化し継続	
		4 終期設定し終了	
		5 完了・休止・廃止	
本事業を継続することで、生活保護制度が真に生活に困窮した者に対して必要な保護を行うとともに自立を助長するものとして機能することにつながると思われる。			